

## 株式会社 KiteRa 「従業員のコンプライアンス違反に関する意識調査」結果

調査対象	勤務先で「コンプライアンス対応業務」を担当しているかという質問に対し、「担当していない」と回答した20～60歳までの従業員		
調査方法	インターネットによるアンケート調査		
有効回答数	725人	調査時期	2025年3月10日

今回は、企業のコンプライアンス違反の実態を多角的に把握することを目的に実施した「従業員のコンプライアンス違反に関する意識調査」から、働く人のコンプライアンスに対する意識についてみていきたい。

### “コンプライアンス違反”の背景を把握する

“コンプライアンス違反”をテーマにしているという点でユニークな調査だと思うが、これは、昨今の官民を含めた一連の不祥事を受けてのことだろう。コンプライアンスに対する働く人たちの意識を明らかにすることで、その背景を把握しようとする試みだ。

さて、調査では核心に触れる問いが2つある。1つ目は、「上司や経営層は、コンプライアンスを重視して行動していると感じますか?」、2つ目は、「仕事で多忙さやプレッシャーを感じていると、ついルール違反をしてしまう、もしくは見逃してしまった、そんな経験はありませんか?」という質問だ。

### “違反、見逃し”の経験がある ..... 69.2%

最初の問いに対しては、「はい」が37.0%、「いいえ」が63.0%となった。

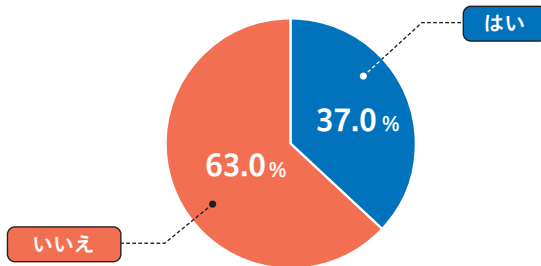
2つ目の問いでは、「まったく」と回答した人が30.8%だったのに対し、「頻繁にある」「時々

## 上司や経営層はコンプライアンスを重視して行動していない

63.0%

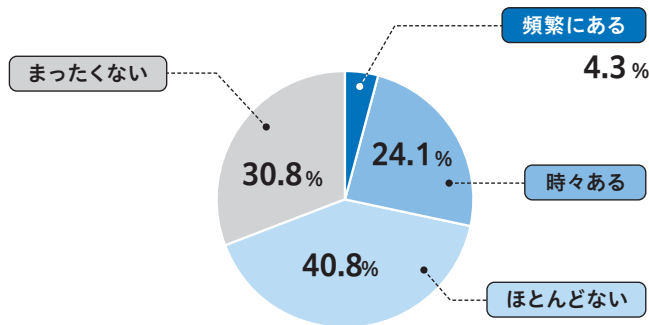
### 上司や経営層は、コンプライアンスを重視して行動していると感じるか?

(n=725)



### ルール違反してしまった、もしくは見逃してしまった経験の有無

(n=725)



ある」「ほとんどない」を合わせた“違反および見逃し”の経験がある人は69.2%となった。

結果を見るかぎり、“違反”を容認することが常態化しているようだ。コンプライアンスに対する

意識は組織や個人で異なることがあるとはいえ、ショッキングな数字だ。さて、皆さんはこの結果についてどう思われるだろうか。

(インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊) ▲